

令和 7 年度
公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告書

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

公益財団法人兵庫丹波の森協会

目 次

活動方針	1
事業体系	1 3
事業の状況	1 7
I 公益目的事業	
公1 森林文化（地域づくり）の創造	17
公2 生活創造活動への支援	29
公3 芸術文化の振興	32
公共 丹波地域情報の発信等	34
II 収益事業会計等	
収1 利用者への利便提供等事業	35
他1 芸術文化団体等活動支援事業	35
III 法人会計	35
施設の利用状況	3 9
(1) 丹波の森公苑	39
(2) 丹波年輪の里	40
(3) ささやまの森公園	40
(4) 丹波並木道中央公園	41
事業の受託状況	4 3

令和 7 年度

公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

【公益財団法人兵庫丹波の森協会（公益目的事業）】

1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを実現するために

- 1) 魅力ある地域づくり
- 2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくり
- 3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業などを推進する

2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切にする心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る

令和7年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

兵庫丹波の森協会は、昭和63年に設立（平成24年公益財団法人へ移行）され、「丹波の森宣言」（昭和63年9月）に基づく「丹波の森構想」（平成元年3月）のもと、丹波地域を「丹波の森」と位置づけ、緑豊かな自然環境と伝統文化など地域の特性や資源を生かしながら、人と自然と文化、産業の調和した地域づくりを目標に、住民、事業者、行政が一体となって、「丹波の森づくり」を推進してきました。

また、県立4施設（丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園）の指定管理者として、丹波の森づくりの理念に基づいて、施設運営に取り組んでいます。

「丹波の森構想」策定から37年が経過する中で、「丹波の森宣言」が、丹波地域の無秩序な開発や画一的な都市化を危惧し、当時の貝原俊民兵庫県知事や河合雅雄先生の提言に基づき、丹波地域の21,616世帯が同意署名により成立したことや、「丹波の森づくり」の取組について、地域住民の認知度や理解度が低下していることが兵庫県豊かさ調査の結果からも表れています。

この「丹波の森宣言」の自然との共生や、ふるさとづくりを謳う森づくりの理念は、SDGs（持続可能な開発目標）や地域創生の考え方とも相通じるところがあり、丹波2050地域ビジョン（令和4年3月策定）においても、丹波の森づくりの「継承と進化」をめざすとしています。

これらの経過を踏まえ、この「丹波の森宣言」の取組をより具体的かつ強力に推進していくために令和5年度に、理事会や小委員会などで協議を重ね、「丹波の森創造プラン」及び「協会アクションプラン」を策定しました。

丹波の森創造プランは、「森を大切に守り育てる」「花と緑の美しい地域づくりを進める」「個性豊かな地域文化を育てる」「安らぎと活力に満ちた地域づくりを進める」という4つの宣言を、18の項目に分けて住民、事業者、行政が「丹波の森づくり」に向けて進める103の具体的な取組を整理したところです。

令和6年度には、丹波の森づくりの未来へつなぐ「丹波の森創造プラン」として冊子にまとめて全世帯や関係機関に配布するなど、アクションプランに位置づけた「丹波の森づくり」の理念浸透への取組を強化しました。

令和7年度は、各事業の実施において「丹波の森づくり」の理念浸透の取組を一層、推進します。

自然を回復軌道に乗せるため生物多様性の損失を止め反転させるという「ネイチャーホジティブ（自然再興）」の考え方を基軸として、「丹波の森づくり」に取り組みます。

さらに、成果指標と位置づけた目標値（丹波の森の認知度70%・理念や活動の理解度60%）の達成に向けた取組、事業毎の目的、事業対象者等をより明確に効果的な事業推進を4施設が連携をして取り組みます。

1 令和7年度 重点的な取組

●重点事業推進の項目

- ・「丹波の森づくり」の理念浸透
- ・「ネイチャーポジティブ（自然再興）」の実践
- ・地域で活躍する「もりびと（人材）」の育成・支援
- ・4施設が連携した効果的な事業展開
- ・管理施設の公募への対応

1) 理念の浸透

「丹波の森宣言」「丹波の森構想」の理念浸透を図るため下記の事業に取り組みます。

項 目	内 容
①職員全員による 情報発信	(1) 職員意識向上 ・協会職員誰もが「丹波の森宣言」「丹波の森構想」を理解し推進するため4施設職員に向けた意識向上及び取組研修 ・丹波の森大学への参加 (2) インスタなどSNSを積極的に活用した情報発信 ・職員自らが、協会（施設含む）の取組とともに、丹波の森づくりの情報を発信するための研修会の開催 (3) 4施設の情報誌を取りまとめて発信する。
②新聞による情報 発信	新聞等に「丹波の森宣言」や「丹波の森構想」に関するコラムを掲載 ・丹波の森研究所研究員（契約研究員含む）等が写真を添えて執筆
③図書館に丹波の 森コーナー設置	両市図書館に「丹波の森特設コーナー」を設置し、協会が発行している冊子や資料、昔話などを配架し、子ども向けおはなし会を開催する。
④丹波の森づくり PR 小冊子の作 成	「丹波の森創造プラン」を判りやすく解説した冊子の増刷に加え、小中学生版の冊子を新たに製作する。 ・マンガやイラストを使いながら読みやすい冊子づくりを行う。
⑤映像編集・活 用	イベント、会議等の様々な機会を活用して「丹波の森づくり」のビデオ映像を上映する。 ・30周年記念時に製作したビデオの再編集を行う。
⑥県市との連携	県市と協会が一体となって取り組むため、県市政策担当部との定期的な情報共有や重点テーマの協議の場を設定する。 ・丹波の森構想を具体的に推進するために策定した「丹波の森創造プラン」の進捗状況を共有するために丹波篠山市、丹波市、兵庫丹波県民局との合同会議を開催する。
⑦学ぶ場の設定	両市に出向き職員研修の場を設定する。また、丹波の森大学への職員参加を依頼し、さらには一般の森大学受講生と両市職員が同時にスキルアップを図る養成ゼミ講座を開催する。

2) ネイチャーポジティブ（自然再興）の実践

「丹波の森宣言」等に関わる丹波の森づくりの理念の浸透を地域に図るとともに、4施設が実施する事業の推進テーマに「ネイチャーポジティブ（自然再興）」を位置付け丹波の森の持つ力を強化して、丹波の森づくりをさらに推進します。

丹波の森大学では、ネイチャーポジティブや自然共生についての特別公開講座を開催します。

丹波の森研究所では、主要テーマにネイチャーポジティブを打ち出し、ユース躍動プロジェクト、職員等研修や協会の取組を支援します。

4施設が実施するイベントや講座などの中で、積極的に理念浸透やネイチャーポジティブを事業に位置付け実施します。

3) もりびと（人材）の育成

- ・協会（職員）として

協会の設置目的である「丹波の森づくり・丹波の森構想」の推進を職員自らが改めて意識し、協会活動に取り組みます。

- ・丹波県民局、丹波篠山市、丹波市と連携して

常に県民局、2市と情報を共有し、「丹波の森づくり・丹波の森構想」や「丹波の森創造プラン」の理念を同じ視点でとらえるとともに、ネイチャーポジティブ（自然再興）を実践します。

- ・地域住民等に対して

丹波の森大学など、協会で実施する取組において、地域等で活躍できる人材育成、スキルアップに主眼を置き取り組みます。

4) 4施設の連携

4施設連携事業「どんぐりプロジェクト」として、秋のイベントなどで、参加者がどんぐりの種まきをして持ち帰ってもらい、翌年度以降に施設で植栽を行う取組を実施します。（参加型の取組・施設の人工林の広葉樹林化）

各施設のそれぞれが保有する特色や強みを生かした取組を協働で実施するためのベンチプロジェクト会議などにより情報共有を図り、一体感を持った事業の推進を図ります。

（1次→素材活用・2次→製材機能・3次→木工作品・6次→木工教室、公園誘客）

また、丹波の森公苑、ささやまの森公園、並木道中央公園に整備されているフィールドの利用拡大を図るため、ルートの再整備（案内板や環境整備）を行い、ウォーキングルートとして、より誰もが気軽に散策できる整備に努めます。

さらに、いつでも子ども連れなどが訪れたい、遊びたい公園づくりを進めます。

5) 組織体制の強化と充実

丹波の森宣言に基づく「丹波の森づくり」を具現化し地域に浸透させるためには、協会事務局及び4施設が一体的に取組を推進する体制の強化や充実が重要です。

この中で、丹波の森公苑は、現在、非公募であることから県から現職5名や県OB職員6名が派遣され、施設運営の中核として業務推進に努めています。

公募後は、この派遣がなくなることから指定管理者の応募に向けて、「体制強化と充実」を図りながら、他の3施設とともに、安定かつ充実した人材の確保、及び効率的な事業推進に取り組みます。

2 丹波の森研究所の活動方針と活動内容

＜丹波の森研究所の近年の取組と今後の活動方針＞

丹波の森研究所では、丹波の森構想の30周年シンポジウムを受けて、生物多様性の推進、生き続けられる集落のあり方を主要テーマとして取り組んできました。その後、丹波の森構想のさらなる推進を目指して「丹波の森創造プラン」の立案をサポートしてきました。

近年の社会動向をみると、2030年までに陸域、海域の30%以上を健全な生態系として保全しようとする目標（30by30）が掲げられています。人類の存続基盤を保全・再生する取組として、ネイチャーポジティブの推進が必要であると言えます。

また、人口減少が激化する中で、少子高齢化も加速度的に進み、生活の基盤となる校区・集落スケールでの地域活動（コミュニティの形成、環境性能の維持、生業の活性化など）を健全に持続していく方策を探っていくことが喫緊の課題となっています。

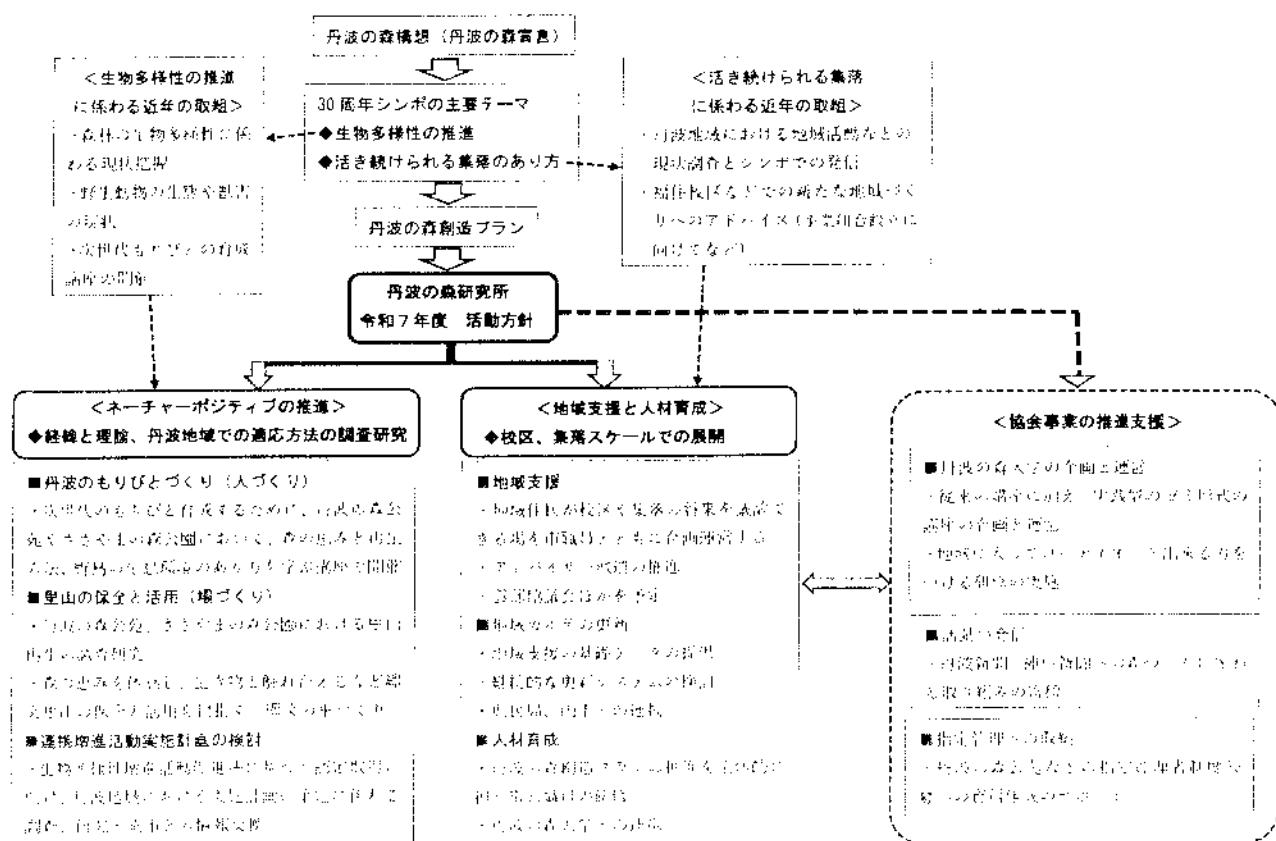
＜令和7年度の活動内容＞

活動内容の概要は、下図に示す通りである。

「ネイチャーポジティブの推進」と「地域支援と人材育成」を主要な活動内容とし、丹波の森大学、活動の発信、指定管理への取組など協会事業の推進支援を行います。

「ネイチャーポジティブの推進」では、これまで進めてきたユース躍動プロジェクトの場づくりへも展開すべく、里山再生の調査研究も実施する。さらに、丹波のもりびとづくり（人づくり）、里山の保全と活用（場づくり）を統合的に展開していくために、新たに施行される生物多様性増進活動促進法（令和7年4月施行）に基づく認定に向けて、丹波地域での「連携増進活動実施計画」の策定に係わる調査、研究を行い、丹波篠山市、丹波市と情報交換を行います。

「地域支援と人材育成」では、校区・集落スケールでの展開を目指して、地域支援、地域カルテの更新、人材育成などを進めていきます。



3 指定管理制度への対応

協会は、4つの県立施設の指定管理者として管理運営を受託しています。

丹波の森づくりの取組を基軸としながら、各施設の設置目的に合致した事業推進を図り適切な施設運営に努めます。

施設名	指定管理期間	適用
丹波の森公苑	R3～R7	R7年度に公募
丹波年輪の里	R6～R10	R5年度に公募で選定
ささやまの森公園	R6～R8	R5年度に非公募で新たに選定
丹波並木道中央公園	R3～R7	R7年度公募

① 丹波の森公苑（非公募施設）

非公募での指定管理期間は、令和6年度以降、単年度ごとに更新されてきましたが、令和7年度には、公募方式による指定管理者の選定がなされます。県が実施するサウンディング調査では、多くの民間事業者が、本公苑の運営に興味を持ち、公募された場合に応募してくることが予測されます。

本公苑は、丹波の森構想を推進・具現化していく重要な拠点です。

協会としては、丹波の森構想を基軸とした取組を今以上に充実させるとともに、生活創造センターの設置目的である、様々な分野の生涯学習や、地域づくり活動等を通じて豊かな生活を創造する県民の主体的な活動拠点施設として充実を図る必要があります。

指定管理者として選定されるよう、民間事業者との共同事業化も検討しながら、施設運営の合理化、利用者サービスの向上、魅力ある事業展開等を目指して公募提案に取り組みます。

② 丹波年輪の里（公募施設）

令和5年度に公募が実施され、令和6年度から5年間の指定管理者に指定され2年目となります。

③ ささやまの森公園（非公募施設）

令和5年度に非公募により選定され、令和6年度から3年間の指定管理者に指定されました。現在は非公募により選定されていますが、将来的には公募の可能もあり、さらに充実した効果的な取組を進めます。

④ 丹波並木道中央公園（公募施設）

本公園は、指定管理期間の5年目となります。

令和7年度には次期指定管理者の公募が実施されるので、共同事業者である兵庫県園芸・公園協会と協議調整を行い、応募します。

4 各部門・施設の主要な取組

令和7年度の協会事務局及び4施設の主な取組は下記のとおりです。

1) 協会事務局及び丹波の森研究所

項 目	内 容
理念浸透 (目標値の達成を目指す)	○職員全員による情報発信(SNSを活用した発信) ○新聞記事・コラム掲載(丹波の森研究所) ○図書館に丹波の森特設コーナー設置(丹波のむかし話のお話し会の実施) ○PR企画(巨大お絵描き大会) ○「丹波の森」小冊子作成(大人版・小中学生版) ○丹波の森ビデオの再編集(各講演会の開始前等で上映) ○4施設での取組(パンチプロジェクト会議ほか) ○取り組む事業などで、丹波地域内の住民を対象とした事業か、地域外の方を対象としたもの、事業の対象や目的を明確にして実施する。
丹波の森大学	○第35期のテーマ:「森の力」 ネイチャーポジティブ(自然再興)の考えのもと「森の力」を総合的に強化することを学ぶことをテーマに構成する。 ○理解を深め学んだ知識(力)を活用する「丹波の森大学」 教養講座/年8回・養成ゼミ/全4回・現地学習(福井県) ○特別公開講座 「ネイチャーポジティブ」を学ぶ特別講座の開催 ○養成ゼミ講座 県市職員と森大学生が共に学び合い、地域で活用できるファシリテーションの実践技術を身につける。 ○他事業との連携 OB大学との連携(合同公開講座) ○実施時期:5月～令和8年1月(教養講座・養成ゼミ・現地学習 全13回)
丹波の森 KIDS プログラム	・自然環境や生き物たちに目を向け、自然を楽しみ、興味関心を育み、自然を大切にする心を育てる。 ・開催時期:5月～令和8年1月 ・開催場所:丹波の森公苑「芝生広場」ほか ・内容:年4回 【春】いどうこんちゅうかん(新規) 【夏】ミクロの世界をのぞいてみたよ(継続) 【秋】どんぐりころころ&自由にチョークでお絵描き(正面玄関前)(継続) 【冬】ゆめはくがやってくる(継続) - 主催:兵庫県立人と自然の博物館、丹波地域恐竜化石ワールドミュージアム推進協議会、(公財)兵庫丹波の森協会

項 目	内 容
丹波の森研究所	①地域支援「集落維持と活性化」 ・地域住民が校区や集落の将来を議論できる場を市職員とともに企画運営 ・研究所が企画立案し、現状の調査と分析、地域に入る職員の育成を実施 ②地域づくりアドバイザーの派遣 ・活力と魅力ある丹波の森づくりを推進するための地域づくり支援 ・地域の取り組みや課題解決のため、研究所から専門家アドバイザーの派遣 ③多様な森の管理指針の探究を見守る若手育成プロジェクト（丹波の森公苑をフィールド） ・森の植物や動物の生態、食や生活環境としての森の恵みなど（5講座） ・柏原高校の「地域探究」とも連携できる内容として多様な森の管理指針を探る調査 ④鳥類の生息に適した森の保全再生プロジェクト（ささやまの森公園をフィールドとして） ・前年度調査を踏まえ、より詳細な鳥類の生息状況と生息環境の整備、管理のあり方に向けた講座・実習（5講座） ・篠山東雲高校生を中心に市内の高校生や一般などを対象 ⑤縄文の森（村）づくり 丹波の森公苑フィールドの生き物のすみか環境調査・整備を、インセクトホテルづくりに取り組む若手グループ等と連携して進めていく ⑥生物多様性増進活動促進法に基づく認定への取組 丹波のもりびとづくり（人づくり）、里山の保全と活用（場づくり）を統合的に展開していくために、新たに施行される生物多様性増進活動促進法（令和7年4月施行）に基づく認定に向けて、丹波地域での「連携増進活動実施計画」の策定に係わる調査、研究を行い、丹波篠山市、丹波市と情報交換を行う

2) 丹波の森公苑

項 目	内 容
「里山整備・活用のあり方」に基づく整備	苑内里山における設定した各ゾーンの計画的な整備に着手する 第1ゾーン：職員やボランティアによる除草・剪定作業、専門業者への作業委託 第2ゾーン：間伐材の有効活用、協会4施設活用（間伐製材加工販売等）の検討 第3ゾーン：尾根づたいに遊歩道の点検や安全対策実施
丹波縄文の森塾	・開催期間：5月～令和8年2月 ・募集定員：小学4年～6年生24人
国蝶オオムラサキの舞う里山づくり	・体験飼育展示 ・小学校等、地域での飼育指導（21小学校、2高校、8事業所等） ・第16回放蝶会：6月下旬 ・国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテストの実施 ・国蝶オオムラサキ越冬幼虫探し（令和8年3月上旬）
講座「丹波学」	・テーマ：「もっと知りたい 丹波の歴史を彩った人と城」 ・開催期間：8月～12月（全6回） ・講 師：城郭懇話会会員 他
丹波の森子どもミュージカル体験塾	・日 程：7月下旬～10月中旬（全15回） ・対 象 者：小・中・高校生 【発表公演】10月19日（日）2回公演
丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば	・開催期間：4/20～10/12 ・オーフニング・サロンコンサート 堀儀文氏、土師あき子氏、高本一郎氏 他 ・ガラ・コンサート 堀儀文氏、土師あき子氏、アロン・サリエル氏、城村奈津子氏 他 ・街角コンサート 丹波地域2市12会場 ・ふるさと音楽ひろば（丹波地域の小学校10校） ・キン・コン・カン・コンサート（丹波地域内の中・高・特別支援学校4校） ・吹奏楽部のための出前講座（丹波地域内で2回） ・音楽系部活動サポータープロジェクト（丹波市立中学校3校）
生活創造活動支援	・生活創造活動を実施する団体等の活動支援 ・生活創造活動登録グループが一堂に会して交流するイベントを開催 ・貸館事業

3) 丹波年輪の里

項 目	内 容
木工クラフト指導 及び特別工作教室	・木工クラフトの創造・創作活動の拠点「木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝え、「暮らしの中に木を取り入れる」 ・初心者から本格派まで、基礎講座からカレースプーン、木のおもちゃ、焼きハン、漆塗り、刃研ぎ等バラエティに富んだ木工教室の開催
木育活動	・人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む「木育」の普及促進 ・木製玩具の貸出しやワークショップ等「認定こども園等を訪問し、遊びを通して木の良さや香り、手触りなど体感できる木育活動（約20ヶ所）」
作品展等	○第11回ウッドワーカーズクラフト ・木工作家の作品の展示即売会を実施 ○座の展 2025 ～丹波で坐る木の椅子～ ・「坐る・触る」ことにより、作品のすばらしさをアピール ○第37回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展） ・テーマ：「木を素材としたおもちゃを、遊び心を大切にしながら、自分の手で創造する喜びを味わう」 ・木工クラフト普及を目的に全国公募展を開催 ○第9回たんば絵てがみコンクール ・「絵手紙」を文化的な創作活動として支援 ○第34回アート・クラフトフェスティバル in たんば 2025 ・全国各地で活動するクラフトマンの作品展示
各種イベント	・ゴールデンウィークフェスタ 2025 ・緑の中のコンサート（年2回） ・グラウンドゴルフ大会（年4回） ・地域団体等との連携 ・ティラノサウルスレース in 丹波竜の里 ・ロハス・パーク丹波 グルメフェス@丹波 ・SPLASH!! 丹波!!、マルシェ、丹波アウトドアフェスティバルなど ・丹波年輪の里杯サッカー大会 ・丹波市モルック大会 ・マルシェ（春、クリスマス）

4) ささやまの森公園

項 目	内 容
高校生を対象とした森の保全再生プロジェクト	・実施内容：鳥類や野生動物の生息状況や環境調査を経た里山保全に向けた取組 ・対象者：篠山東興高校生、近隣高校生、一般参加者 ・実施時期：6月～10月 ・連携：京都府立大学大学院、県立人と自然の博物館と協働
ネイチャーホジタイププロジェクト	・里山再生に向けた苗木の植栽活動（活動スタッフ、ボランティア募集、「森の学校」児童 等） ・里山遊びフィールドの整備（活動スタッフ協働）
基本プログラム	【重点事業】 活動スタッフ（ボランティア）が企画立案、当日のプログラムを運営 ○里山体験班 ・草木染め、鹿の角アクセサリー作り、布雑巾・しめ縄づくり 等 ○里山伝承班 ・おから料理、梅味噌、黒豆栽培、そば道場、黒豆みそ、しめ縄づくり 等 ○自然学習班 ・野草観察会、ハーブウォッチング、ホタルやモリアオガエルの観察 等 ○レクリエーション班 ・稲作体験、源流探検、深山登山、とんど、餅つき、ツリーイング 等 ○里山復元班 ・カッティングボード、ログチェア、ミニ門松、竹スピーカー、チェンソー、安全教室 等
森の学校(第18期生)	・自然の中で様々な体験、たくましく生きる力を育てる ・対象：小学3年生から6年生（開催回数：年10回）

5) 丹波並木道中央公園

項 目	内 容
昆虫大捜査線	・公園内の大自然の中で昆虫の捕獲や捕獲した昆虫を分類するなど、公園の自然を幅広く学ぶ事業を実施 ・兵庫県立人と自然の博物館と連携し、研究員講師による昆虫観察会を実施
サイクルステーション活用事業	・兵庫県サイクリングモデルルートが発着点であるサイクルステーションを活用し、自転車安全教室や一人で自転車に乗れる教室などを実施 ・県下で唯一自転車の乗り入れが可能な公園としてレンタサイクル事業を継続（電動自転車の使用も開始）
各種イベント	①なみきみわくわくフェスティバル 「Go!Go!里山の日」の会場の一つとして開催 ②なみきみらまつり（収穫祭） ・当公園のある味間地区と大山地区のまちづくり協議会と連携 ・秋の収穫時期に大規模な食イベントを開催
大人の木工教室、なみきみわくらフト	・公園内の適正な間伐と間伐材の活用で温かみに触れる“木育” ・間伐材道具の作成、間伐材を利用したの大人の木工教室など

5 財政運営

財政上の課題として、県補助金である地域振興事業補助金等の大幅な減額や、金利の低下により基本財産にかかる運用益も低減する中、協会の収入確保は厳しい状況にあります。

令和7年度においては、「丹波の森宣言」「丹波の森構想」そして「丹波の森創造プラン」にかかる理念浸透にかかる取組に対して、丹波の森づくり基金を活用します。

また、基本財産の運用方法を見直すなど、効果的な財源確保を図ります。

さらに、協会事務局が取り組むアクションプランに基づき、事業や予算の精査を行い財源の在り方について県市と協議します。

令和7年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業体系

人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを推進するため、県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立ささやまの森公園及び県立丹波並木道中央公園において、次の事業を実施する。

1 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発（深化）のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざす

(1) 魅力ある地域づくりの推進

ア 丹波の森大学の開設

イ ウィーンの森友好親善交流事業

ウ 丹波の森研究所

エ 地域づくり支援事業

- ・ 地域づくり支援事業
- ・ 花と緑の地域づくり事業
- ・ 丹波の里山づくり発信事業

オ 花づくり活動支援事業

カ 丹波の森フェスティバルの開催

キ 丹波年輪の里事業

【県立丹波年輪の里】

ク 丹波並木道中央公園事業

【県立丹波並木道中央公園】

ケ 施設フィールドを活かした自由散策

【全施設】

(2) 生物多様性を育む地域づくりの推進

ア 丹波地域生物多様性保全事業

イ 縄文の森コース躍動プロジェクト事業

ウ 丹波の里山育成手法の調査研究

エ 丹波の森公苑里山事業

オ 丹波の森公苑環境学習推進事業

カ ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

(3) 公1 共通経費

ア 施設運営・管理

【全施設】

公2 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動（以下「生活創造活動」という。）を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざす。

(1) 地域・団体活動の支援

ア 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）

- イ 生活創造活動施設貸し館業務
- ウ スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

(2) 生涯学習の場の提供

- ア 兵庫県地域高齢者大学4年生大学講座（丹波OB大学）の開設
- イ 講座「丹波学」の開設
- ウ 丹波地域学が高齢者のつどいの開催

(3) 明日を担う丹波っ子の育成

- ア トライやる・ワーク等受入
- イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催
- ウ 丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしぼなし語り・クラブの活動支援

【全施設】

(4) 公2 共通経費

- ア 施設運営・管理

公3 芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざす

(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供

- ア 丹波の森国際音楽祭シェーバルティアーデたんばの開催
- イ 丹波の森公苑ホール等自主事業

(2) 芸術文化活動の振興

- ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催
- イ 丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちや展）の開催
- ウ 展示ギャラリー等の活用
- エ 伝統文化活性化支援事業
- オ 座つ展 ―丹波で生る木の椅子―

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波年輪の里】

(3) 公3 共通経費

- ア 施設運営・管理

公共 丹波地域情報の発信等

(1) 丹波地域情報の発信等

- ア 情報発信等
- イ 運営委員会の開催

【全施設】

【全施設】

II 収益事業会計等

1 収益事業会計

(1) 施設利用者への利便提供等事業の実施

【県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立丹波並木道中央公園】

2 その他事業会計

(1) 芸術文化団体等活動支援事業

ア 芸術文化団体等への活動支援

イ 音楽活動団体等への支援

III 法人会計

【全施設】

1 法人会計

(1) 協会維持運営

ア 協会維持運営

イ 「丹波の森創造プラン」・「兵庫丹波の森協会アクションプラン」の取り組み

ウ 市・県との連携強化

(注) 各事業の右に実施している施設名を記載している。記載がない場合は、県立丹波の森公苑で実施している。

令和7年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業の状況

(単位：円)

1 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

(単位：円)

項目	事業名	事業目的・内容	実施状況	予算額	決算額
(1) 魅力ある地域づくりの推進	丹波の森大学の開設 (協会事務局)	丹波の森づくり・丹波の地域づくりを実現する学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「森・守・盛」づくりなど、将来の丹波地域を創造するためのより深い学習と実践の場として多彩な講師陣の講義と現地学習を交えた講座を開催する	重点 ○第35期のテーマ 「森の力」 ・募集定員：60人 ・受講生数：50人 ・受講料：8,000円 ・開催時期：5月24日（日）～令和8年1月17日（火） ・場所：丹波の森公園多目的ホール、丹波篠山市民会多目的・催事場1、2 ・内容：①講義方式：9回（うち現地学習1回） ②ゼミ方式（養成・シミュレーション） ※養成ゼミ受講者数：77人（4回計） ○県、両市との連携 講座・養成セミナーへの県・市職員の参加（15人） ○他事業との連携 丹波（旧）大学との連携（9月15日 公開講座） ○受講生募集の SNS 広告発信 参加者募集の広報のため、Facebook 及び Instagram にて特定ターゲット層へ広告を配信し、「丹波の森大学」サイトへの誘導を促進した 発信期間：5月1日（火）～6日（火） 表示回数：85,691回 クリック数：962回（1.12%）	1,636,000	1,625,000
ウィーン市の森見学訪問事業 (協会事務局)	ウィーン市は、市中央部を「ドナウ川」が流れ、市西部はウィーンの森として知られる森林地帯が広がり、ユネスコの世界遺産に登録された「ウィーン歴史地区」や国立歌劇場や博物館など、豊かな森、自然景観、文化や歴史が市民の生活の中に深く溶け込んでいる またこれらは、丹波の森は、丹波の森構想では「丹波の森」のモデルであり、今後市民を中心とした交流をさらに深めることにより、より魅力的な「丹波の森」づくりを進められる。	○新たな都市間友好親善の提携 ・令和4年度にウィーン市13区ヒューフィングからの都市間友好親善提携について要請を受け、仲介者のラクトー氏と WIB 会議やメールなどを通じ協議を進めた。 ・都市間提携の提案をされたコバルト区長が令和3年9月に辞任され、ニコラウス・ネーデル区長が就任された状況下では進展していなかったが、令和7年6月に新たにコハンナ・ツィンクル区長が就任され、新たな交流を期待している。就任のメッセージを送り、ウィーン市と丹波地域の相互の交流や発展を早速に実施した。 ・ウィーンを兵庫丹波の森協会が友好親善協定を行った当時のヒューフィング区長クルストバハ氏が日本・オーストリア間の友好親善に寄与され在外外国人の秋の祭典を受章された。 ①カンファレンス 6月18日（木）・9月2日（火）・令和8年3月17日（火） ②第13区長就任挨拶のメッセージ送付 コハンナ・ツィンクル区長へ（9月1日発） ③元区長クルストバハ氏外国人叙勲お祝い、メッセージ・記念品送付 （在オーストリア日本大使館へ12月26日（金）発送） ④写真展 ア）丹波の森フェスティバル 一部展示 展示日：10月26日（日） イ）丹波篠山市立中央図書館 展示期間：令和8年1月7日（木）～15日（金） ウ）丹波市立植野記念美術館 展示期間：令和8年1月17日（火）～25日（日） エ）丹波の森公園 展示期間：令和8年2月4日（木）～15日（日） オ）ウィーン市での写真展の開催 丹波地区の写真展をウィーン市で開催予定 ○オオムラサキへの支援及び情報交換 ・仲介者ラクトー氏を通じて、情報共有を継続的に行っている。 ・ウィーン・フルン動物園からの要請を受け、オオムラサキの飼育5頭を兵庫丹波オオムラサキの会を通じて今年輸送。 令和8年2月20日（金）ウィーン・フルン動物園到着	254,000	252,281	

項目	事業名	事業目的・内容	実施状況	予算額	決算額
ウ	丹波の森研究会 (協会事務局)	丹波の森構想に基づき「人・自然・文化・産業の調和した地域づくり」(丹波の森づくり)を推進するため、地域づくり等に関する調査・研究・提言とともに、市・県との連携を図り、地域課題解決のため、地域とともに考える地域伴走型支援を行う。	○交流花壇設置支援事業 丹波の森・ウメノンの森提携20周年記念事業・友好親善提携訪問バスツアーの設置した「ユメノンの花壇」の来遊者に当協会とウメノン市13区との交流を周知するもの。 ○丹波の森づくりの推進に向けた取組 (丹波地域で可能な多自然地域づくり情報交換会) ・地域づくりの基礎情報となる小マップとカレンダーの更新による協議 ・参加者：丹波県民局、丹波篠山市、丹波市、協会(丹波の森研究会)5名 ・開催日：5月22日(火)、8月21日(木) 2) 丹波市職員研修 ・開催日：9月25日(木) ・対象者：新採用職員約25名 ・内容：丹波の森宣言等の概要(事務局)、地域づくりの取り組み(研究会) 3) 丹波篠山市職員研修 ・主事、主任クラス研修 ・開催日：10月28日(火)・29日(水) ・対象者：主事・主任級 60人 ・内容：丹波の森づくりについて(事務局) 4) 新採用職員研修 ・開催日：令和8年2月24日(火) ・対象者：新採用職員 28人 ・内容：丹波の森宣言等の概要(事務局)、地域づくりの取り組み(研究会) 4) 丹波新聞が掲「丹波のもりびと」 ・5月から毎月1回の寄稿(令和6年度から継続して実施) ・「愛読者コンセンサス」を活用して(門下保護)、愛地域の交流を固有性の創出(土南木昭彦)、3田舎の価値を伝える(小橋昭彦)、3もりびとKIDSに期待(八木健郎) ・丹波の森研究所研究員の丹波の森づくり活動を紹介 5) 田舎部小学校活用検討 丹波篠山市の依頼に基づき、田舎部まちづくり協議会が行う検討活動を支援 ・内容：丹波篠山市城東支所と丹波の森研究所研究員による調整会議 【田舎部内住民との懇談会】 ・開催日等：4月～6月に調整会議3回実施 7月31日(木)に田舎部内住民との懇談会を開催 ・研究員の派遣 ・住民自ら議論を深める支援のため、新たに市田舎章氏を研究員とし、派遣した。派遣にかかる経費は、すべて県民局事業の活用を依頼した。	3,863,000	3,841,621
ロ	地域づくり支援事業 (章会事務局)	活力と魅力ある丹波の森(地域)づくり推進に向けて、地域・行政・大学・NPO等と連携協働しながら、地域づくりのテーマの調査研究、重点地区の支援(アドバイザー派遣)、地域が取り組む活動(ワークショップ等)・事業などを行う。	○地域づくりアドバイザー派遣 1) 丹波がまちづくり難関市実行委員会 ・今年度の難関市交流会や展示企画に対する提案等 ・実施日：8月19日(火)、9月10日(木)、9月17日(木) 2) 田舎部まちづくり協議会支援(再掲) ・田舎部小学校活用検討 ○丹波の森もりびと賞 ・審査委員会 ・開催日：9月19日(金) 審査対象：21団体 ・受賞者 ① 那 依文(内宮市) ② 市環境保全委員会(丹波市) ・表彰式 ・開催日：10月26日(日) ・場所：丹波の森公園「丹波の森」大ホール・公園	473,000	347,073

事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
・花と緑の地域づくり事業 (総合事務局)	美しい地域づくりのため、丹波地域の市民の花と緑に関する意識の向上及び花と緑の地域づくり活動の普及推進するため、丹波の森公園などの主要団地に地域づくりの手引きを作成したポスターを展示し、地域を花や緑で飾る事業を実施する	○ミニガーデン(コンテナガーデン)の制作・展示 ・展示場所：丹波の森公園、丹波年輪の里、丹波苗木道中央公園 ・実施期間：10月12日(日)～11月3日(月・祝) ・規模：6庭 ・出展団体等：丹波の春花くらぶ、丹波市商工会女性部有志、史久保護女性会山南支部小田区、県立木上高校、県立篠山産業高校、県立篠山東高校 ○たんぽオープンガーデンへの参加 ・開催日：4月20日(日)～21日(月) 5月18日(日)～19日(月) ・開催場所：丹波の森公園、丹波苗木道中央公園 ○丹波の里山づくり活動支援事業 ・モラルとなる里山活動用紙「アトバイザー」派遣し、森づくり活動を支援 (1)八幡共有山組合(丹波篠山市) (2)平松区森林愛好会(丹波市) (3)ふるさと和田山山づくり協会(丹波市) (4)市緑地地区自治協議会(丹波市) ※里山活動1号に10月～3月に実施 ・里山づくりアトバイザー会議を定期開催 (第1回) 開催日：10月29日(水) 開催場所：丹波の森公園 出席者：里山づくりアトバイザー、丹波篠山市、丹波市、丹波の森研究所、協会事務局、丹波の里山づくり実行委員会事務局(丹波農林事務局) (第2回) 開催日：令和8年3月4日(水) 開催場所：丹波の森公園 出席者：里山づくりアトバイザー、丹波篠山市、丹波市、丹波の森研究所、協会事務局、丹波の里山づくり実行委員会事務局(丹波農林事務局)	361,000	358,761
・丹波の里山づくり発信事業 (総合事務局)	丹波地域では、昭和63年に「丹波の森宮内」を採択し、地域全体を「森」として捉え、人と自然と文化が調和した地域づくりを進めてきた。「美しい国」を次の世代へと繋いでいくための取組を県民局、丹波篠山市、丹波市及び(公財)兵庫丹波の森協会が協働して推進する		600,000	600,000
【丹波の里山づくり推進事業】(総合事務局)				
・花づくり活動支援事業 (丹波の森公園)	花と緑をふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する	○花と緑の教室(基礎講座) 草花等の育成知識習得、寄せ植え実習 ・受講者数：70人/募集：60人 ・受講料：18,000円 ・講師：県立グリーンセンター派遣職員 ・実施期間：5月～令和8年3月(年6回) ・場所：丹波の森公園創作1号 ○花と緑の地域教室(自主活動グループ支援) 花と緑の教室を受講し、知識・技術を習得した者が、リーダーとして地域単位で教室を開催 ・グループ数等：2グループ・7人 ・受講料：16,500円 ・講師：花と緑の教室を受講した者 ・実施期間：5月～令和8年3月(年6回) ・場所：公民館等 ○園芸教室(応用創作講座) 創作寄せ植えを中心とした知識習得、実習 ・受講者数：20人/募集：20人 ・受講料：7,000円(材料費等別) ・講師：エコーガーデンマイスター認定者 ・実施期間：5月～令和8年3月(年7回) ※うち1回市立先進地視察 ・場所：丹波の森公園創作1号	1,448,000	1,417,787
【丹波の森フェスティバル】開催 (丹波の森公園)	地域住民や各種団体が取り組む生涯学習活動や地域づくり活動の成果発表を通して、活動のきっかけとなる展開・活動者の交流を図るとともに、自己の体験を発信する	○丹波の森フェスティバル 「丹波の森」に集う人達を通して森の力を知ると、森について、体験事業やワークショップ、森のフェスティバルを開催 ・開催日：10月26日(日) ・場所：丹波の森公園 ・内容：1号館ワークショップ、シェフ・マスターズ実演、餅つき体験、石窯ピザ作り他 2号館ワークショップ「丹波の森」(参加費別) 3号館の「丹波の森」(丹波の森のいいとこ)発表会 中継とイミダシティの森の里山イミダ館にて	760,000	746,473

項目	事業名	事業目的・内容	実施状況	予算額	決算額
			・カヌー大会式、相原高友奏琴部、一瀬前ノボリにサポートし「県内芸術祭」にノボリ大会により実施。 ・バスに展示など「県内（団体）」「県外（ノボリ）」「県内（個人）」、「神楽川河川敷」物販など。 ・「県内（ノボリ）」、「県外（個人）」（再掲） ・参加者数：300人		
イ	丹波年輪の里事業 （丹波年輪の里）	・木の文化を伝えるため、木工クラフトを中心として、町民のスポーツ、レクリエーションなどの活動をさらに促進するため、施設や現状を踏まえ、各種の事業を見直し、実施する。	【重点】 ○木工クラフトの指導 木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木工クラフトの体験の中で、物づくりの楽しさを体感するとともに、「森から、のちに木を取り入れる」ことをめざし、木工の普及振興に取り組んだ。 【団体：16団体 500人、個人：2,142人】 ○ゴールデンウィークフェスタ ・期間：5月1日（木）～6日（火・休日） ・丹波ウッドリーカーズクラブ 42人の木工家の展示場2会 ・展示：20点 15人の木工家27脚の展示 ・アウトリノ作品展（他のクラフト作品展、水彩画展、小児のベストカービー展） ・積み木で遊ぼう、端材で遊ぼう、ロープのぼり、いざ遊ぼう ・竹とんぼづくり、フリーイング体験 ○平口グラウンドゴルフ 参加者数：2,140人 ○第9回心を届けるたんば絵てがみコンクール テーマ：「春の節」 募集期間：9月2日（火）～12月28日（日） 応募数：637点、616人 展示会会場：丹波年輪の里 木の館 展示期間：令和8年1月31日（土）～2月15日（日） 来場者数：829人 〔巡回展〕 開催場所：兵庫県中央労働センター 開催期間：令和8年3月10日（火）～24日（火） ○木に関する情報提供 ・Webサイトによる情報提供 ・木材業界や一般市民の木材に関する木材利用相談 ・木市（春・秋） 丹波市内の製材所や木工所と協力し、DIY向けの木材や端材を廉価で販売 開催日：5月24日（土）、11月22日（土） 【重点】 ○木育活動 ・丹波市を1つの政神間の認定こども園や保育園等に出席し、木のぬくもりや楽しさを体感してもらうため木育センターの貸出し、木の良さを伝えるため、触覚や視覚に訴える「木の語り」（ワークショップ）を実施した（年間30施設） ・市内在住の木工家は製作した木工品を、木のまはしを配置した。 利用者数：16,825人 ・木工の楽しさや指導方法を研究したため、丹波市小学校園に移動型展示場を開設した 開催日：8月20日（水） 参加者数：12人 ・小学生利用体験 丹波市立進徳小学校から今年度の児童を対象に開設した。 ・木工体験をより通じて木工大関を募集して機会を増やす計画を 開催日：10月20日（月）	2,720,000	2,371,839

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	タ 月波地区浄化センター事業 (新木道中央公園)	「町立丹波地区浄化センター」は、公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田、月波の特産物などを活用して、来園者が憩いや安らぎを感じる事業やイベントを、地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組む。 また、令和3年度に丹波地域憩い文化センターとして整備された「動く恐竜模型」「恐竜発見」は、自転車を活用した地域活性化の拠点として整備された「サイクルステージション」という新たな魅力が加わったことにより、多様な世代が楽しめる公園運営が努める。	・里山歩き＆カフェスタ 身近な里山の魅力を再発見するイベントを月波山頂の町谷川で地元自治会・農会と里山管理団体、月波年輪の里で地域連携による共同開催した。 開催日：11月8日(土) ○活力あふれる地域づくりに資する公園 ・第12回月波なみきみちふし「収穫祭、2025」 開催日：10月5日(日) 参加者数：2,024人 ・棚田のゆたかを活用したイベント ・田植え体験(認定こども園) 開催日：5月21日(水) 参加者数：27人 ・田植え体験(一般) 開催日：5月25日(日) 募集定員：7組 参加者数：34人 ・田植え体験(小学部) 開催日：5月15日(火) 参加者数：12人 ・稲刈り体験(一般) 開催日：10月26日(日) 募集定員：30人 参加者数：26人 ・稲刈り体験(小学部) 開催日：10月28日(火) 参加者数：12人 ・稲刈り体験(認定こども園) 開催日：10月29日(水) 参加者数：27人 ・月波茶・日本茶のイベント ・新茶の淹れ方体験(茶まつり連携) 開催日：6月7日(土) 募集定員：10人 参加者数：18人 ・お茶染め体験 開催日：8月3日(日) 募集定員：10人 参加者数：5人 ・黒枝豆収穫体験 ・黒枝豆の収穫体験 開催日：10月12日(日)・19日(日) 募集定員：各20人 参加者数：計41人 ・ギャラリー「かべぶき民家」 ・新木道水彩画展・絵画展覧会 開催日：5月1日(木)～5日(月・祝) ・篠山子どもふれあい会練習会 開催日：4月20日(日)、6月12日(日)、 7月27日(日)、10月26日(日)、 令和8年2月11日(水・祝) 参加者数：計81人 ・ムラヴィックウォーク・ギンク 実施期間：毎月第3土曜日実施 参加者数：89人 ・心とからだの癒し講座 ・芝人形づくり(朝来美術) 開催日：4月22日(火) 募集定員：10人 参加者数：4人 ・アロマスプレーづくり(朝来美術) 開催日：6月24日(火) 募集定員：10人 参加者数：7人 ・おもしろ沼海魚(朝来美術) 開催日：7月29日(火) 募集定員：10人 参加者数：なし ・ペン字講座づくり(朝来美術) 開催日：9月30日(火) 募集定員：10人 参加者数：7人 ・板に描く葉っぱの水彩画(朝来美術) 開催日：11月18日(火) 募集定員：10人 参加者数：なし ・木の皮で作るアートオブジェクト(朝来美術) 開催日：12月9日(火) 募集定員：10人 参加者数：12人 ・各種型紙競走大会等フリーイベント 公園工務部等と共催し、打ち合わせ、使用施設の調整・貸し出し、備品の貸し出し、スタッフの観望等を行っている。	3,734,000	3,694,187

項目	事業名	事業目的の概要	実施状況	予算額	決算額
			・月波緑山市・月波山中学校野球競走大会 開催日：10月22日（水） ・月有地中学校野球競走大会 開催日：10月29日（水） ・月波緑山市野球競走大会・小学生野球競走大会（月波緑山市陸上競技協会主催） 開催日：12月29日（土） ・スローク大会（月波緑山市教育委員会主催） 開催日：11月1日（土）		
			○子育てに資する公園		
			・間伐材を使った遊具の補修 6月、7月、遊具のウレタン、遊具の塗り替え		
			・ひろめん流し 期間：7月1日～8月31日の土日祝日 1日2グループ 参加費：1グループ2,000円 利用者数：7月、4グループ40人 8月、4グループ35人		
			・無料おはらえ・管理圃場のメンテナンス 年中		
			・冬の貸出 冬の降雪時に実施 実施日：令和8年1月25日（日）、2月8日（日）、 2月9日（月） 貸出料：1回200円 利用者数：計33名		
			・なみきみちおくおくフ・スライパル 開催日：5月5日（月・祝） 参加者数：計6,949人		
			・昆虫大捜査線 開催日：10月12日（日）午前・午後 募集定員：各回100人、参加者数：計178人		
			○環境との共生に資する公園		
			・大人の木工教室 実施期間：毎月第1・第3土曜日 募集定員：各回4人、参加者数：計46人		
			・幼児みくろソフト 開催日：7月27日（日）午前・午後 募集定員：各回4人、参加者数：計8人		
			・花と緑の教室 フラワーセンターとの連携事業 実施期間：年9回 募集定員：24人（12人×2回）※第9回のみ20人×1回		
			・第1回 初夏の花を使った寄せ植えと管理法 開催日：5月16日（金）参加者数：13人		
			・第2回 夏の花々を使った寄せ植えと管理法 開催日：6月20日（金）参加者数：16人		
			・第3回 観葉植物を使った寄せ植えと管理法 開催日：7月18日（金）参加者数13名		
			・第4回 多肉植物を使った寄せ植えと管理法 開催日：9月19日（金）参加者数：9人		
			・第5回 秋の草花の寄せ植えと管理法 開催日：10月17日（金）参加者数：17人		
			・第6回 クリスマスの寄せ植えと管理法 開催日：11月21日（金）参加者数：18人		
			・第7回 正月を飾る寄せ植えと管理法 開催日：12月19日（金）参加者数：24人		
			・第8回 早春の草花の寄せ植えと管理法 開催日：令和8年2月20日（金）参加者数：22人		
			・第9回 苔ラングムの作り方と管理法 開催日：令和8年3月20日（金）参加者数：8人		
			・かんぽオーブンカーレースの参加 開催日：4月26日（金）～27日（月） 5月18日（日）～19日（月）		
			・ミヨビづくり 開催日：12月11日（日） 募集定員：15組、参加者数：15組		
			・トイズ＆ウエーク 開催日：6月2日（月）～6日（金） 受入数：計画申請25人		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			○持続可能なパークマネジメントの推進 ・他団体との大規模イベント ・カーニストリート行なうきのみ - 開催日：11月24日(日) 参加者数：8,799人 ・なみきみどりの町営市 - 開催日：令和8年2月22日(日) 参加者数：1,206人 ・なみきのみ恐竜フェスタ - 開催日：令和8年3月15日(日) 参加者数：3,162人 ・木材供給システム ・丹波丹波の森協会・園芸公園協会が管理する施設等と調整しながら間伐材の提供など実施 ・化石発掘・クラゲ・サンゴ体験会(丹波篠山市教育委員会) - 開催日：5月5日(土・祭)、8月2日(日) - 募集人数：各回10人 参加者数：計6人 ・岩砕石割調査(人と自然の博物館) - 開催日：11月6日(木)～19日(水) ・ジオの教室(丹波(5分)人と自然の博物館) - 開催日：令和8年3月8日(日) 参加者数：計86人 ・BARK LIFE ・从報紙「BARK LIFE」を年14回発行(公園の旬パトロールを表紙に取り上げる) ・ホームページやSNSの更新 ・公園ホームページ、Facebook、Instagram などSNSを活用 ・探検企画の実施と調整 ・並木道絵画甲斐部(水絵画教室、展覧会、石ころアート) ・日本茶を楽しむ会「Tan-ten」(日本茶フェスタ・日本茶祭り) ・楽々美香草(心とからだの癒し講座) ・丹波彫刻会(おんど工作教室) ○その他 ・なみきみどりイベント - 開催日：令和8年1月29日(木) 参加者数：計19人 - 場所：丹波並木道中央公園むすびき民家		
	ク 施設フィールドを活用した自由散策 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森) (並木道中央公苑)	施設利用者だけでなく、たれもが気軽に訪れる公園、散策できるフィールドの活用・整備を行う	○施設フィールドを活かした自由散策 ・施設ごとの魅力を生かした公園内の自由散策の推進を図る ・丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公苑、並木道中央公苑の散策等のルートを点検、再整備(案内板など)を行い、たれもが気軽に散策できるような整備を行う ・丹波の森公苑のフィールドは、子ども連れ等が訪れたい、遊びたいと思える公園づくりの工夫と検討を行う		
(2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進	ア 丹波地域生物多様性保全事業 (協会事務局)	平成30年度に実施した丹波地域生き物実態調査の結果を踏まえ、同地域における生物多様性の現状や保全の重要性について、地域住民の理解を促進するとともに、地域団体の活動を支援することにより、同地域の生物多様性の保全を図り、丹波の森づくりをさらに推進する	○丹波の森 KIDS プログラム (共催：兵庫県立人と自然の博物館、丹波青少年本部) ① いどうこんちゅうのふしプログラム 開催日：5月5日(日・祭) 開催場所：丹波の森公苑多目的ルーム 参加者数：135人 参加費：1人300円(2歳以下無料) 内容：いどうこんちゅうのふし、昆虫ズームイン、ふしのおもてなし大会、缶バッジを作ろう ② ミクロの世界をのぞいてみよう 開催日：7月28日(土)・29日(日)、8月9日(土)・10日(日) 開催場所：丹波の森公苑11号 参加者数：大人128人、こども165人、計293人 対象者：小学生以下60歳以下の子どもを含む家族 参加費：無料 スタッフ：兵庫県立人と自然の博物館、こども環境自然観察スタッフ 内容：ミクロスコープを使って虫や植物などを拡大して見よう ③ 秋のふしをめぐろう 開催期間：9月26日(金)～11月11日(金) 参加者数：181組 (大人219人、小学生89人、幼児262人) 会場：秋のふし体験し連携(南掘) 参加者数：小学生(1日)27人、認定こども園(1日)27人	268,000	263,024

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			4. 456名に及びたいくるとする！(ジエ)の教室(市丹波、 開催日：令和8年1月18日(日) 場所：丹波の森公園多目的ホール 対象者：小学生以上 参加者数：延べ201人 内容：ミニ展示、ミニササライ化石カレドニカ、くくり、 化石発掘体験、兵庫県立人と自然の博物館研究員 の話 ○どんぐりプロジェクト 丹波の森フェスティバルに引き継ぎ実施 (目にする樹木からどんぐりを拾って植物作業) 開催日：10月26日(日) 場所：丹波の森公園 ○縄文の森コース羅動プロジェクト 前年度の結果を受けて、市面・山内・南宮・丹波の連携・ 調整して、対象エリアを絞り込んで実施 ①多様な森の管理指針の探究と森を見守る若手育成プロジェクト ・実施場所：丹波の森公園 ・実施内容：森の植物・動物の生態、食・生活環境などへの森 の恵みなど5調査項目(高度の「地域探究」)と、 連携できる内容とする。多様な森の管理指針を探 るための調査研究フィールドを丹波の森公園内 に設置した ・対象者：県立熊原高校生、丹波地域の高校生、森林管理者、 森林活動者、丹波財政局、両市の行政職員など ・実施時期：6月1日(日)・7月27日(日)・9月28日(日)・ 11月16日(日) ※プロジェクトの実施に関しては、兵庫県森林動物研究セン ター、兵庫県立人と自然の博物館などと協働し実施した ②ささやまの森公園の保全再生プロジェクト(ささやまの森公 園と共同実施) ・実施場所：ささやまの森公園 ・対象者：県立熊原中央高校生、丹波地域の高校生、一般参加 者他 ・実施内容：前年度の調査結果を踏まえ、鳥類の生息状況に加 え、水生生物、小哺乳類の調査、固定カメラに よる行動調査、生息環境の整備、管理のあり方に 向けた講座や実習など (ア) 講義・全体ガイダンス(実施日：5月25日(日)) (イ) フィールド調査 ・予備調査：4月6日(日) ・本調査(3日中)：6月8日(日)・7月13日(日)・ 8月11日(月・祝)・9月14日(日)・9月 14日(日) ・内容：「鳥類・哺乳類及び水生生物の生息環境・フィー ルド調査」 (ウ) まとめ会・検証と今後の展開 ・実施日：10月5日(日) ・参加者数：合計42人 ・連携先：京都府立大学大学院、兵庫県立大学大学院、 兵庫県立人と自然の博物館 ○縄文の里(村)づくり ・実施場所：丹波の森公園 ・実施内容：県民局事業「かみほろコースターズ」を連携して、 プロジェクトホール(縄文の里)をつくりだす設置 ・対象者：たのびのフェスティバル、丹波の森フェスティバルの参 加者 ・実施時期：4月～10月	1,558,000	1,479,563
	丹波の里山育成手 法の調査研究 (協会事務局)	森林が持つさまざまな 価値を明らかにするこ と、丹波の森公園等につ いて、人工林や天然林 の林齢・立地・分布に ついて、丹波の里山に 関する調査研究を 行う、地域の里	○里山育成調査研究 生活の中で森林との関わりが低く、放置林が増え、豊かな 生物多様性や生態系が失われている。このため、森林の生態系 の調査や生物多様性の向上が著しい「ササライ・ササライ」 の推進に貢献する事業として、多様な森林利用による 管理指針を明確化することを目的に、森林管理者や森林活動者の 意見などを踏まえ、里山の調査研究を実施した	1,320,000	1,326,541

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
		山活動団体が実施する生物多様性の保全やSDGsの取り組みを支援する	実施日：8月7日(木) 第1回調査研究会 9月18日(土) 読書林観察研修会 10月10日(金) 公益NPO等での植生調査の支援 令和8年3月6日(金) 第2回調査研究会 ○多様な森の管理指針に係わる動物・植生の調査 ゾーンを決め、動物(動物を把握する定点カメラを設置)、植生の出現状況との関係性を把握し、令和8年度以降も継続して実施する		
丹波の森公園里山事業 (丹波の森公園)	丹波の森公園の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物への関心を通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る また、緑豊かな森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するとともに、丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う安を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋ぐため、オオムラサキの飼育展示や地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する	○里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業 ・森づくり講座の開設 里山の保全・管理活動に要するスキルを有している人へ技術修得を目的とした人などを対象に、丹波の森公園里山を拠点とした講座や里山整備に関する相談を実施 【講座】 ・間伐材活用編(お太ドラツクリ) 日程：9月1金・土曜日のコース設定 各3日間開催 募集定員：各コース3人 参加者数：(全曜日のコース)3人 (日曜日のコース)3人 参加費：6,000円 場所：丹波の森公園 ・間伐編 日程：10月～11月 年5日間開催 募集定員：6人 参加者数：3人 参加費：3,000円 場所：丹波の森公園 里山・丸太加工教室(お太ドラツクリ) 日程：11月22日(土) 募集定員：6人 参加者数：6人 参加費：6,000円 場所：丹波の森公園創作工房 【相談(依頼)】 80件 300人 ○里山及び環境学習体験フィールドの整備 丹波の里山づくりを支援する自主活動グループ(里山倶楽部 015 創設、会員数17人)、及び森づくり講座受講生を中心とした「里山整備サーター」(010 創設、会員数16人)に活動の場を提供することにより、苑内里山の開拓、草刈り、森林整備等の環境整備を行った ○森づくり活動アドバイザーの設置 緑豊かな丹波の森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するため、森づくり活動アドバイザー(2人)を配置。教育機関等からの要請により、森づくり活動アドバイザーを派遣し、森づくりや環境学習の相談・指導・支援を行った 重点 ○国蝶オオムラサキの舞う里山づくり オオムラサキの飼育展示を行うとともに、オオムラサキが舞う里山空間の創造を目指して設立された国蝶オオムラサキの会(023 設立、会員数111人)と連携し、オオムラサキの生息環境整備に取り組んだ ・オオムラサキの飼育展示 ・小学校・企業等への飼育指導 ・第18回放蝶会の実施 開催日：6月29日(土) 参加者数：120人 ・国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ動画の作成 対象：小学生 募集期間：8月1日(金)～9月30日(火) 応募総数：123点 発表式：10月31日(土) 丹波の森イメージ動画の会場で実施 作品展：丹波地域内3ヶ所で開催 丹波の森タウン会場： 10月31日(金)～11月9日(日) 丹波の森公園会場：11月10日(水)～17日(水)	711,000	703,670	

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			丹波篠山市立中央図書館会場： 令和8年11月7日(水)～16日(土) ・オオムラサキ越冬幼虫展 日時：令和8年3月1日(日) 場所：丹波の森公園里山 参加者数：11グループ30名(うち子ども13人) ・兵庫丹波オオムラサキの会との連携		
		丹波の森公園の里山整備を計画的に実施し、豊かな風景や景観の形成、生物多様性の保全を図る。また、里山整備を通じて、里山の育成、里山環境の整備と里山整備を体験する場の提供、伐採樹木等の森林資源の活用を推進する。	重 点 ○里山整備・活用のあり方の検討 里山里山にはいる設定した各ゾーンでの計画的な整備を検討した。 第1ゾーン：職員やボランティアによる除草・剪定作業の継続、専門業者への作業委託 第2ゾーン：間伐材の有効活用、協会4施設活用(間伐製材加工施設等) 第3ゾーン：足根・笠に山湯街道の点検や安全対策実施		
	丹波の森公園環境学習推進事業 (丹波の森公園)	里山の自然や生き物について体験的に学び、さらに、自らが日々の暮らしで生活行動を見直し機会をつくる環境学習を行う。	こども対象プログラム 重 点 ○丹波縄文の森祭の開催 開催期間：5月～令和8年2月 参加料：9,000円 準 生：22人/募集21人(小4～6) 場 所：丹波の森公園 内 容：里山及び生き物の観察、縄文土器調理体験、稲作の体験(田植え、稲刈り、脱穀、餅つき) ○自然体験活動サポーターの設置 丹波縄文の森祭の運営に携える「自然体験活動サポーター」を配置し、社会人等が毎日の活動動を支援しながら、自然体験活動のノウハウを培った。 ○環境体験学習支援プログラム 1.親子・家族対象プログラム ・里山ふれあいハイキング 開催日：4月29日(火・休) 参加者数：27人 ・丹波いきもの大集合 開催日：7月12日(土) 会場：丹波ゆめタウン(旧国形移動展示) 参加者数：600人 対象：家族連れ等 2.幼児・小学生対象プログラム ・里山の秋のふり体験 開催期間：9月26日(金)～11月11日(金) 参加者数：小学生(14名)27人 認定こども園(7園)27人 ・生きもの観察会 丹波の森公園・七つ木の見世展示、香取川4.8館開設等 ・出張観察が実施 4オムラサキ等関係 25回	1,069,000	1,038,117
	丹波の森公園環境学習推進事業 (丹波の森公園)	人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(1)基本プログラムの里山体験・里山伝承・自然学習・レクリエーション、里山夜会などの実施を通じて、(2)特別プログラムの里山一日・特別企画等や、(3)里山体験プログラム(園内散策・木工クラフト等)等を実施することにより、里山の保全と創	重 点 (1) 基本プログラム ・里山体験班：草木で染めとり、煎スリッパを作る等、クワ・ハシクワを作る等 プログラム回数：12回実施 参加者数：148人 ・里山伝承班：里山を模写し、その道場・里山、里山で生活する様子等 プログラム回数：10回実施 参加者数：150人 ・自然学習班：バーベキュー・クワ、各種観察・クワを観る、クワの観察からクワの採取等 プログラム回数：11回実施 参加者数：111人 ・クワ作り班：場所：西山登山、クワ作り、クワの観察等 プログラム回数：17回実施 参加者数：130人	9,523,000	9,486,283

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
		息を進め、交流の場、森の恵み、情報を提供する	・里山復元町：植竹体験、森の時計作り、親子で新製り体験、炭焼き体験等 ・プログラム回数：18回実施 参加者数：162人 (2) 特別プログラム ① 里山の日：5月5日(月・祝) ・里山の日特別企画「森のウォーク」 - 参加者数：11人 ・里山の日特別企画「春の里山登山」 - 参加者数：13人 ・里山の日特別企画「春の野草観察」 - 参加者数：9人 ② 特別企画「親子で銅鑼会」 - 開催日：令和8年3月28日(日) - 参加者数：8人 ③ 里山まつり - 松の里山まつり - 開催日：4月13日(日) - 参加者数：200人 - 秋の里山まつり - 開催日：11月9日(日) - 参加者数：300人 (3) 団体プログラム ・団体利用(学校組、森の広散歩広場(他)) - 利用団体：35団体 総数：698人 ・森の科展 第18期生(参加児童：18人) - 動植物の観察、炭焼き体験、源流体験等 - 全10日活動 ・篠山町農商校「里山文化」講座支援 - 全20回講座実施 ・たんぽぽコース躍動プロジェクト：(再掲) - 前年度に引き続き、鳥類や野生生物の生息フィールド調査に基づいた生息環境整備を目指す活動として実施 ① 講義・全体ガイダンス 実施日：5月25日 ② フィールド調査 - 実施日： ・予備調査：4月6日 ・本調査(4日中) 6月8日・7月13日、8月11日(雨天中止、9月14日) - 内容「鳥類や哺乳類及び水生生物の生息環境フィールド調査」 ③ まとめ会・検証と今後の展開 - 実施日：10月5日(日) 【参加者数】合計42人 【連携先】京都府立大学大学院、兵庫県立大学大学院、兵庫県立人と自然の博物館 (4) その他 ・「ネイチャーボランティアプロジェクト」 - ー里山再生を目指す里山整備活動 ① 活動ボランティアによる里山整備 全6回実施 ② 植樹活動(参加者を募って実施) ① 第1回植樹活動 - 開催日：10月19日(日) - 参加者：12人 ② オーストラリア高校生植樹活動 - 開催日：11月18日(火) - 参加者：13人 ③ 「森の学校」修了生による植樹活動 - 開催日：令和8年3月7日(土) - 参加者：18人 ④ 第2回植樹活動 - 開催日：令和8年3月22日(日) - 参加者：11人		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(4) 公1費 通経費	ア 施設運営・管理 (月波の森公園) (月波年輪の里) (さくらまの森公園) (並木道中央公園)	公1 森林文化(地域 づくり)の創造事業を推 進するための人件費及 (施設)の維持管理費	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人 件費及び施設(の維持管理費)に支出している。	174,074,000	171,908,929

公2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 地域・団体活動の支援	生活創造活動支援事業(消費生活を含む) (丹波/森公苑)	生活創造活動登録グループ参加者の生活空間を楽しく時間を共有することで、グループの活性化と新規グループの発掘を図る	○グループ活動の支援 ・登録グループ数：134グループ ・グループ活動ワークショップ提供：116グループ(724人) ・結果発行のための資料印刷機材の提供：330グループ ・生活創造活動グループサポート事業 グループ数実績：22グループ実施 ・生活創造活動グループ交流イベント ①「MORNING-モリクル-2025」の開催 開催日：7月20日(日) 出展グループ数：20グループ 参加者数：700人 ②「MORNING-モリクル-秋」の開催 (丹波の森/カキ・ストリート開館) 開催日：10月26日(日) 出展グループ数：13グループ 参加者数：400人 ○普及啓発 ・消費生活グループの発行(6,411冊) ・チラシ、ポスター掲示 ・県民局事業への支援	289,000	287,370
イ 生活創造活動施設貸し館業務 (丹波/森公苑)		県民の生活創造活動のために施設を貸与する 利用者数(貸し館に係るもの)	(単位：人)		
			R5R6R7前年同期比		
		ホール棟	21,00723,66928,466	120.2%	
		里山スクエア	489505275	54.5%	
		研修棟	25,58626,19425,396	97.0%	
		キュービクル・ゲージ	20,33818,09917,837	98.6%	
		計	70,42068,46771,954	100.1%	
		施設使用淨収入	(単位：円)		
			R5R6R7前年同期比		
		ホール棟	3,437,8503,460,9004,014,350	116.0%	
		里山スクエア	135,000126,40068,500	54.2%	
		研修棟	2,504,4502,513,5502,541,500	101.2%	
		キュービクル・ゲージ	3,564,2503,533,4003,546,250	100.4%	
		計	9,641,5509,634,25010,173,500	105.6%	
		R5.5.23～	里山スクエア(中央キッチン・おむつ室、4) 利用開始		
		R6.1.10～2.25	ホール棟空調設備修繕工事のためホール休館		
		R7.1.20～3.2	ホール棟キュービクル改修工事のためホール休館		
		R7.2.10～13、2.17～20、2.24～25	キュービクル交換作業のため本館休館		
		R8.3.31	指定管理者変更のため、全館調剤休館		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	リ・スポーツ大会・文化祭等の開催 (丹波年輪の里)	地域のスポーツ・文化活動を促進するため、グラウンドゴルフ大会の開催や、丹波地域球体のイベントを支援する。また、青年室を利用する本1特別教室、ボランティアを利用するコックル教室等を開催する。	重 点 ○特別工作教室 ・募集講座：in講座 1,409人 ・定期講座 WORK SHOP (月4回) 参加者数：135人 植・・・教室 (年21回) 参加者数：251人 ○グラウンドゴルフ大会 (年4回予定) 第1回開催日：6月4日(水) 138人 第2回開催日：9月24日(水) 131人 第3回開催日：12月2日(火) 145人 第4回開催日：令和8年3月5日(木) 136人 ○ティラノサウルスレース in 丹波 2025 ※丹波のティラノサウルスの着ぐるみを着用しレース等を行う。 10時：10月18日(土) 午前9時～16時 場所：丹波年輪の里芝生広場 参加者数：バス部62頭、メスの部80頭、幼獣の部50頭 主催：丹波基民局、丹波 2050 地域ビジョンたんばマースチーム、丹波地域活性化委員会、たんばマースチーム推進協議会、丹波市(観光課)、丹波市教育委員会(歴史課)、(一社)丹波青年会議所、(一社)丹波市観光協会、スポーツ推進プロジェクトチーム(市)、県立人と自然の博物館 ○緑の中のコンサート (年2回) (第1回) 開催日：6月21日(土) 出演：フルートマンチャース 開催場所：丹波年輪の里木ノ箱ホール 来場者数：200人 (第2回) 開催日：12月13日(土) 出演：丹波少年少女合唱団・M.S.iji 開催場所：丹波年輪の里木ノ箱ホール 来場者数：200人	2,030,600	1,617,749
(2) 生涯学習の場の提供	丹波地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)の開設 (丹波の森公苑)	生涯学習の場として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の有用な人として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創出する人材者を養成する。	重 点 ○丹波OB大学 ・学習年限：4年 ・募集定員：各学年60人 ・受講者数：139人(1年38人、2年41人、3年33人、4年37人) ・講座内容：教養講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造)、特別講座 ・開催期間：4月～令和8年3月まで18回 ・場所：丹波の森公苑多目的ルーム1号 ・受講料：12,500円	1,775,000	1,521,345
	講座「丹波学」の開設 (丹波の森公苑)	地域の特色や丹波地域の魅力の再発見などを通して、伝統文化等を生み出した地域づくりに活用するための学習機会を提供する。	重 点 ○講座「丹波学」の開催 ・テーマ：「もっと知りたい 丹波の歴史を彩った人々」 ・開催期間：8月23日(土)～12月13日(土) ・全6回：うち1回(開講30日記念)はジョウム(10時) ・場所：丹波の森公苑ホール ・募集定員：200人 ・受講者数：174人 ・講師：慶應 大門(株式会社歴史)文化の研究者・代表取締役)ほか ・受講料：6,000円	1,014,000	920,580
	丹波地域若年高齢者のための講座 (丹波の森公苑)	丹波地域で学ぶ高齢者が、交流会・発表発表・創作活動の展示を通して、地域で学習活動の成果を発表する。	○丹波地域学ぶ高齢者のつどい ・開催日：9月25日(木)～26日(金) ・場所：丹波の森公苑ホール、多目的ルーム ・参加者数：延べ77人(丹波地域内40高齢者大学受講生を含む) ・内容：作品展及び発表発表	168,000	150,888

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(3) 明日を担う丹波っ子の育成	・トライやる・ウィーク等受入 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公苑) (並木道中央公園)	中・高生の働くことの大切さや職人意識を学ぶため、職場体験の場を提供する	○中・高校生にふさわしい体験プログラムの開発を行った。 ・トライやる・ウィーク(中学生受入) 【丹波の森公苑】 期間: 6月3日(火)～7日(土) 受入人数: 3人 【丹波年輪の里】 期間: 6月4日(水)～6日(金) 受入人数: 4人 【ささやまの森公苑】 希望者なしのため受入なし 【丹波並木道中央公園】 期間: 6月2日(月)～6日(金) 受入人数: 3人 ・インターンシップ(高校生受入) 【丹波の森公苑】 期間: 11月11日(火)～14日(金) 受入人数: 2人 【ささやまの森公苑】 期間: 令和8年1月27日(火)～31日(土) 受入人数: 2人	5,000	4,200
	イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催 (丹波の森公苑)	将来の芸術文化を担う子どもたちの豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育む。また、仲間と共に創造することを楽しみながら、舞台芸術に親しむ活動を通じた青少年の健全育成を目指す	重 島 ○レッスン ・開催期間: 7月21日(月・祝)～10月18日(土) (全15回) ・場所: 丹波の森公苑多目的ルーム1号 ・対象者: 小・中・高校生 ・募集定員: 50人 ・参加者数: 55人 ・指導: (有)ウエスト・プロ 劇団ウエスト ・参加費: 6,000円 ○発表公演 ・公演「オズの魔法使い」 ・開催日: 10月19日(日) (午前・午後 2回公演) ・場所: 丹波の森公苑ホール ・入場料: 大人1,000円、高校生以下無料 ・入場者数: 896人 (内訳: 大人410人、高校生以下333人、保護者103人、塾生50人)	1,872,000	1,431,362
	ウ 丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし語りクラブの活動支援 (協会事務局)	子どもの健全な成長とこころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、家庭や地域に広める活動を推進するため、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成や研修会を開催する	○「丹波のむかしばなし」を活用した「お話し会」 開催日: 10月5日(日) 場所: 丹波並木道中央公園古民家 内容: なみきみちまつりのイベントの1つとして実施 出演サークル: 語りバサークルふるさと、こんぱいとう、乙女会 ○大路小学校むかしばなしクラブの支援 ○丹波篠山市立中央図書館及び丹波市立中央図書館との連携 ・大人のためのお話し会 開催日: 10月26日(日) 場所: 丹波市立中央図書館 視聴覚室 出演サークル: 語りバサークルこんぱいとう ・お話し会 開催日: 令和8年1月10日(土) 場所: 丹波篠山市立中央図書館 お話しなしの部屋 出演サークル: 語りバサークルふるさと	50,000	47,066
(4) 公2共通経費	ア 施設運営・管理 (丹波の森公苑)	公2「生活創造活動」への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公2「生活創造活動」への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している	100,161,000	96,488,130

公3 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的・内容	実施状況	予算額	決算額
(1) 舞芸・芸術鑑賞機会の提供	ア 丹波の森国際音楽祭・ジュニア・カン・コン・コンサートなどの開催	国内外からアーティストを招聘し、地域交流・国際交流の輪を広げるコンサートを開催する。 ・「シェン・パールの音楽を愛する」交流を深める「オー・カン・コン・コンサート」。 ・「ガフ・カン・コンサート」を開催 ・丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの実施 ・「ふるさと音楽ひろば」(小学校10校程度) ・「キン・コン・カン・コンサート」の開催 ・音楽関係部活動のための出前講座「ブラバン塾」の実施等	【重 点】 ○テーマ：「丹波で響き合う竹と糸、そしてシェン・パール～日本の篠笛と世界の撥弦楽器の出逢い～」 開催期間：4月20日(日)～10月12日(日) ○オープニング・サロンコンサート 「篠笛とリュートの出逢い」 ・開催日：4月20日(日) ・場所：北草子・里丹波ミナール館 ・参加人数：105人 ・入場料：大人2,500円(当日3,000円) ○街角コンサート ・12会場(木上、春日、篠山(2回)、今田、丹南(2回)、西紀、市島、青垣、柏原、山南) ○ガラ・コンサート 「篠笛とマンドリンの出逢い」 ・開催日：10月12日(日) ・場所：丹波の森公苑ホール ・参加人数：195人 ・入場料：大人2,500円(当日3,000円)、高校生以下無料(要整理券) ○ふるさと音楽ひろば(小学校10校) ・参加者：1,223人 ○キン・コン・カン・コンサート ・10月6日(月) 丹波篠山市立篠山中学校 360人 ・11月12日(水) 丹波篠山市立今田中学校 80人 ・11月14日(金) 丹波市立市島中学校 225人 ○音楽関係部活動のための出前講座「ブラバン塾」 ・10月18日(土) 丹波市立市島中学校 17人 ・12月27日(土) 丹波市立山南中学校 13人	1,300,000	1,219,212
	イ 丹波の森公苑ホール等自主事業(丹波の森公苑)	丹波の森公苑ホールなどにおいて自主イベントを開催し、丹波地域住民への芸術鑑賞機会の提供と丹波の森公苑の賑わいづくりに努める。	○丹波の森ジュニアコーラスフェスティバル ・日程：令和8年1月25日(日) ・場所：丹波の森公苑ホール ・参加人数：181人 ・入場料：無料	130,000	119,606
(2) 芸術文化活動の振興	ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催(丹波年輪の里)	丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマンが一堂に集い、芝生広場など苑内での自由な作品展示、来園者との交流を行う。	【重 点】 ○第34回アート・クラフトフェスティバル in たんば 2025 ・開催期間：11月1日(土)～2日(日) ・場所：丹波年輪の里 ・出展者数：180ブース(木工、陶芸、ガラス、染色、皮革等) ・来場者数：約25,840人(2日間)	400,000	400,000
	イ 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催(丹波年輪の里)	人に優しい木を素材とし、遊び心を大切にしたがら、自分の手で創造の喜びを作り出す「木への感謝を目的に全国公募展を開催する。	【重 点】 ○第37回丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ大賞展) ①一般の部(テーマ：ゆめたち) ・出展数：67人、69点(うちテーマ12点) ・展示期間：9月6日(土)～21日(日) ・場 所：丹波年輪の里木の館ホール ・来場者数：1,213人 ②ジュニアの部(高校生以上) ・出展数：231人、217点 ・出展校等：小丹波10校、中学校5校、高校6校、特別支援学校1校、計12校 ・展示期間：10月11日(土)～26日(日) ・場 所：丹波年輪の里木の館ホール ・来場者数：1,686人	900,000	900,000

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	ア 展示ギャラリー等の活用 (丹波の森公苑)	日中訪来者芸術文化を愛好し、創作活動に励まれている方々に作品発表の場を提供し、丹波の森公苑ギャラリー等の活性化を図る。	○丹波の森新春書き初め展 ・日程：1 令和8年1月21日(金)～25日(日) 2 令和8年2月9日(土)～12日(火) ・場所：1 丹波の森公苑多目的ルーム棟 2 丹波篠田市立国々の森生涯学習センター ○兵庫県文化賞受賞者小品展 ・日程：1 1月6日(木)～9日(日) ・場所：丹波の森公苑多目的ルーム ○展示ギャラリーの開設 日程：随時 利用料数：20 件 場所：丹波の森公苑展示ギャラリー 内容：書、絵画、写真等の展示	123,000	39,146
	イ 伝統文化活性化支援事業 (丹波の森公苑)	丹波地域の子供たちを対象にした伝統文化に関するワークショップを開催し、子どもたちが日本の伝統文化の良さや豊かさを体感できる機会を提供する。	○子どもたちのための和楽器鑑賞会(丹波文化団体協議会による出前授業) ・開催期間：9月～令和8年1月 ・開催校：丹波管内の小中学校12校 ・参加児童数：316 人	139,000	138,088
	エ 座・展「丹波で坐る木の椅子」 (丹波年輪の里)	丹波地域に木工クラブと文化の定着を図るとともに、丹波地域を中心に創造活動する木工作家の技術の向上を目指し、「椅子」の展示会を開催する。「坐る・触る」ことにより、作品の作り手としての体験することができる。	○「座っ展 2025—丹波で坐る木の椅子—」 ・開催期間：5月1日(木)～6日(火・祝日) (年輪の里に於けるライウィークス内) ・場所：丹波年輪の里木工館ホール ・出展者数：木工作家15 人、27 脚の出展 ・来場者数：1,486 人	130,000	72,257
(3) 公営施設費	ア 施設運営・管理 (丹波の森公苑)	公営文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公営文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している	34,464,000	34,392,452

公表 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
E 丹波地域情報の発信等	イ 情報発信等 (事務局) (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	みなみで琴波と篠原の地域づくりを進めるため、丹波の森の魅力を高め、地域内各種実践活動等の情報を幅広く発信する。 またSNSの社会的な情報交流環境の構築をインターネット上で実現することにより、今まで知り得なかった人々地域をつなぐため、若者世代にもなじみやすくなるSNSを活用し、ネットの力を使う。ユーザーが「共感」する情報をより多くの人に発信していく。 「丹波の森づくり」に対する理念浸透を図るための積極的な情報発信を行う。	○年報(年1回発行) ・6月発行 ホームページに掲載 ○ホームページによる情報発信 ・随時更新 ・アクセス件数 延べ13,621件(協会) 延べ25,815件(丹波の森公苑) 延べ52,222件(丹波年輪の里) 延べ25,152件(ささやまの森公園) 延べ37,757件(丹波並木道中央公園) ○フェイスブック、インスタグラム、Xによる情報発信 ・随時更新 ○フェノロジーカレンダーによる情報発信 ○「丹波の森づくり」PR冊子作成(行政職員) 丹波篠山市、丹波市、丹波県民局、協会全職員に配布(9月) ○小中学生向け「丹波の森づくり」の冊子作成 丹波の森づくりを子どもが見易く理解できる、おもしろい冊子の作成及び配布(11月) ○理念浸透を図る動画編集 30周年記念事業で作成した動画を最新に再編集し、会議やイベント等で上映し、理解を深めた。(5月に完成し、森大等で活用) ○「丹波の森」巨大お絵描き大会 開催日:4月27日(日) 開催場所:丹波の森公苑主幹線路 参加者数:236人(うち子ども141人) ボランティア(高校生含む):20人 内容: ・親子で巨大なキャンバスに「丹波の森」をイメージする絵をみんなで描いた ・子どもたちは「丹波の森」の大切さを知ってもらうことを目的とした ・作成風景を動画を撮影してSNS発信 ○ホームページのリニューアル ・デザイン等を刷新し、ユーザーが見やすく利用しやすいホームページに全面的にリニューアルすることにより、丹波の森づくりに関する情報をわかりやすく発信し、親しみと理解を深めるよう取り組んだ	1,521,680	1,321,000
	イ 運営委員会 開催 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	地域の参画による事業運営を行うため、丹波の地域住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する	○丹波の森公苑運営委員会 令和8年2月21日(土) 書面開催 ○丹波年輪の里運営協議会 令和8年3月4日(水) 開催 ○ささやまの森公園運営協議会 12月12日(金) 開催 ○丹波並木道中央公園 森の円卓会議 ・第1回 11月14日(金) 開催 ・第2回 令和8年3月10日(火) 開催	180,000	131,288

II 収益事業会計等

取 1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 利用者への利便提供等事業	ア 利用者への利便提供等事業 (丹波の森公園) (丹波年輪の里) (並木道中央公園)	1 公益目的以外の施設の貸与 ・ 県立丹波の森公園 及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2) 管理運営施設における物品販売場所の提供 3 木の普及及び木工クラフト普及のための木工クラフトキット、加工木材等の販売	1 公益目的以外の施設を貸与 ・ 丹波の森公園 ・ 丹波年輪の里 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 飲み物の自動販売機設置 (2) レストラン施設貸与 (3) 物産販売場所の提供 (4) レンタサイクル事業 ・ 丹波の森公園 (1)・ (2) ・ 丹波年輪の里 (1)・ (2) ・ 丹波並木道中央公園 (1)・ (3)・ (4) 3 木工クラフトキット、加工木材等を販売 ・ 丹波年輪の里 ・ 丹波並木道中央公園	8,207,000	6,880,226

他 1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 芸術文化団体等活動支援	ア 芸術文化団体等への活動支援 (丹波の森公園)	丹波の森公園を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援する。	○丹波文化団体協議会 丹波文化団体協議会の事務局を担い、丹波地域の文化向上のための事業を実施 ・ 丹波文化活動交流会 ・ 丹波合唱祭 ・ 兵庫県地域文化を考えるシンポジウム ・ 日本の文化体験フェスティバル ・ 夏休み子ども文化教室 (ほか) 助成金交付団体: 1件 ・ 柏原高校好楽会 (コーラス部50名) (8月)	25,000	23,060
	イ 音楽活動団体等への支援 (協会事務局)	森づくり基金として受け入れた寄附金を活用し、丹波の森公園ホールを利用する音楽関係団体等に対し、利用料に対する助成金を拠出し、団体等への支援を行う。		51,000	50,550

III 法人会計

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 法人会計	ア 協会維持運営 (事務局) (丹波の森公園) (丹波年輪の里) (さきやまの森公園) (並木道中央公園)	・ 評議員会・理事会開催費 ・ 協会事務局管理部門の人件費及び維持運営費	○評議員会 ・ 第29回定時評議員会 (6月27日(金)) 令和7年度公益財団法人兵庫丹波の森協会事業計画及び収支予算について、令和7年度公益財団法人兵庫丹波の森収支補正予算(第1次)について、丹波の森アクションプラン理念浸透について ・ 第30回評議員会 (8月1日(金)) (書面同意) 評議員の解任及び選任について ・ 第31回評議員会 (10月1日(水)) (書面同意) 評議員の解任及び選任について ○理事会 ・ 第54回理事会 (6月10日(火)) 令和6年度公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告及び収支決算の承認について、令和7年度公益財団法人兵庫丹波の森協会収支補正予算(第1次)について、第29回公益財団法人兵庫丹波の森協会評議員会の招集について ・ 第55回理事会 (7月23日(水)) (書面同意) 第30回公益財団法人兵庫丹波の森協会評議員会の招集について	16,297,000	16,202,433

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			・第56回理事会（9月19日（金））（丹波市議会） ・第31回公益財団法人兵庫丹波の森協会評議員会の招集について ・第57回理事会（令和8年1月27日（火）） ・令和7年度公益財団法人兵庫丹波の森協会収支補助予算（第2次）について ・第58回理事会（令和8年3月20日（土）） ・会計規程の一部改正について、組織規程の一部改正について、令和8年度公益財団法人兵庫丹波の森協会事業計画及収支予算について、令和7年度公益財団法人兵庫丹波の森協会収支補助予算（第3次）について、役員等賠償責任保険契約について、第32回公益財団法人兵庫丹波の森協会評議員会招集について ○監事監査（5月27日（火）） ・令和6年度事業報告及収支決算について ○中間監事監査（11月21日（金）） ・令和7年度上半期事業報告及収支決算について ○協会事務局管理部門の人件費及び維持管理 ・基本財産（2億円）の運用方法の変更（第48回兵庫県20年債・14.67%・1年） ・4施設連携会議（オンライン）（8月6日（水）） ・施設長等幹部会議（10月24日（金））		
1	丹波の森創造プラン」「兵庫丹波の森協会アクションプラン」の取組み （協会事務局）	・「丹波の森創造プラン」の普及推進 ・「兵庫丹波の森協会アクションプラン」の取組み	○職員研修 1.丹波市職員研修【再掲】 ・開催日：9月25日（木） ・対象者：新規採用職員約25名 ・内容：丹波の森宣言等の概要（事務局） 地域づくりの取組み（研究部） 2.丹波篠山市職員研修【再掲】 ア）主事、主任クラス研修 ・開催日：10月28日（火）・29日（水） ・対象者：主事、主任級：60人 ・内容：丹波の森づくりについて（事務局） イ）新規採用職員研修 ・開催日：令和8年2月21日（火） ・対象者：新規採用職員：28人 ・内容：丹波の森宣言等の概要（事務局） 地域づくりの取組み（研究部） ○丹波の森創造プランの冊子作成（行政職員用・3,000部） ・配布：9月に2市・県民局全職員へ ○丹波新聞寄稿「丹波のもりびと」（再掲） ・5月から概ね月1回の寄稿 ・丹波の森研究所研究員による活動を通じた寄稿内容として、丹波の森づくりを紹介した ○未来へつなぐ“丹波の森”小冊子の作成 ・内容：小中学生に理解を得るため、パンク等による冊子作成（10,000部） ・配布：11月 ・配付先：丹波篠山市及び丹波市の全小学4～6年生、中学校1～3年生の児童・生徒及び先生 ○県関係機関への丹波の森づくり周知活動 ・丹波県民局など、丹波地域の関係施設を理事長・副所長、丹波の森創造プランの周知を図る ・実施日：4月31日（火） ・訪問先：丹波県民局長	2,232,000	2,229,957

項目	事業名	事業目的・内容	実施状況	予算額	決算額
	ウ 市・県との連携強化 (協会事務局)	丹波の森構想、丹波の森づくりの理念を広く情報発信し、市民・県民・学生・体験・理解・地域で実践するため、その機会を積極的に提供していくため、協会・市・県が一体的に取り組む体制を強化する	○協会・市・県等の連携強化 ・丹波の森構想推進連絡会の開催 構成：協会・丹波篠山市・丹波市・豊後市 開催日：5月21日（水） ・2市担当部長・課長との会議 開催日：11月13日（木） 内容：協会体制、運営について ・市関係課と協議調整 丹波市：総合政策課、職員課、農林基幹課など 丹波篠山市：創造都市課、農都環境課、森づくり課、城東支所など 内容：森づくり推進、地域支援、自然共生システム、協会の体制、運営など ○職員が学び理解する場 ・丹波の森大学などを通じて、協会・市職員に対し、丹波の森づくりを学ぶ理解する研修を実施（桑成せきへ参加） 2市及び丹波県民局担当5～9人の参加		

令和7年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会施設利用状況

(1) 丹波の森公苑

施設	稼働 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
ホール	285	97	34.0	21,114	3,326,550	2,934,850	113.3
練習室兼楽屋	308	168	54.5	6,098	551,100	120,650	131.0
楽屋A	285	60	21.1	578	97,550	75,850	128.6
楽屋B	285	61	21.4	356	39,050	29,550	132.1
創作工房	308	139	45.1	3,111	350,400	123,800	82.7
多目的ルーム	308	197	64.0	11,625	1,277,000	1,202,200	106.2
和室	308	78	25.3	585	59,200	62,200	95.2
会議室1	308	156	50.6	1,747	155,450	137,650	112.9
会議室2	308	115	37.3	1,131	117,650	75,400	156.0
会議室3	308	135	43.8	2,291	181,050	155,700	116.3
セミナー室	308	145	47.1	4,906	403,750	456,600	88.4
コワーキングスタジオ	308	5	1.6	90	28,200	76,800	36.7
キッチンスタジオ	308	16	5.2	185	40,300	49,600	81.3
テニスコート	301	251	83.4	11,801	3,302,000	3,266,100	101.1
グラウンド	301	123	40.9	6,036	244,250	267,300	91.4
計	4,537	1,746	38.5	71,954	10,173,500	9,634,250	105.6
前年度計	1,150	1,683	37.8	68,467			
前年度対比		103.7	101.8	105.1			

(2) 月設年輪刀用

施設	稼働 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
ホール	308	306	99.4	26,947	0	0	0.0
工作室A	308	10	3.2	305	27,150	26,900	100.9
工作室B	308	10	3.2	2,872	11,650	21,350	54.6
アトリウム	308	5	1.6	949	18,050	20,400	0.0
研修室A	308	86	27.9	2,286	236,250	223,850	105.5
研修室B	308	43	14.0	677	81,850	120,600	67.9
会議室	308	54	17.5	793	53,200	59,650	89.2
工作共同	308	243	78.9	2,542	198,930	203,830	97.6
イベント広場	308	210	68.2	85,811	261,200	272,200	96.0
計	2,772	967	34.9	123,182	888,280	948,780	93.6
前年度計	2,763	1,042	37.7	101,258			
前年度対比		92.8	92.5	121.7			

(3) ささやまの森公園

内訳	稼働 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
一般	309			20,840			
プログラム				1,547			
団体利用				1,126			
その他				333			
運営協議会				15			
計				23,861			
前年度計	309			25,360			
前年度対比				94.1			

(4) 丹波並木道中央公園

内訳	稼働 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
一般	359(駐 車 場は 365日 開場)			241,154			
プログラム				27,212			
団体利用				5,075			
その他				0			
円卓会議				28			
計				276,469			
前年度計	359			273,112			
前年度対比				101.2			

令和7年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業の受託状況

事業名	委託者	契約金額	収入済額	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
兵庫県立丹波の森公苑指定管理	兵庫県	135,368,000	135,368,000	0	県立丹波の森公苑に係る施設維持及び運営管理業務			
兵庫県立丹波年輪の里指定管理	兵庫県	75,217,500	74,794,000	423,500	県立丹波年輪の里に係る施設維持及び運営管理	施設の維持管理に係る次の再委託は、省略した。 ・清掃委託 ・機械整備委託 ・各種設備保守管理委託 ・ホール運営業務 等		
兵庫県立ささやまの森公園指定管理	兵庫県	8,995,740	8,995,740	0	県立ささやまの森公園に係る施設維持及び運営管理			
兵庫県立丹波並木道中央公園指定管理	兵庫県	40,260,000	40,260,000	0	県立丹波並木道中央公園に係る施設維持及び運営管理			
都市公園整備事業	兵庫県	16,250,000	1,303,581	14,946,419	丹波並木道中央公園の維持修繕業務を行う。			
太古の生きものの館の施設管理	丹波篠山市	194,700	127,449	67,251	丹波篠山市立太古の生きものの館の施設管理業務を行う。			
丹波の里山づくり発信事業	丹波の里山づくり促進事業実行委員会	600,000	0	600,000	認定したモデル団体10団体に対し、アドバイザーを派遣し、計画策定後の活動を継続的に進め、イベント企画、行政担当部局や木の駅プロジェクトとの連携など、30年間の長期活動の運営ができるよう支援を行う。			
里山育成調査研究事業		1,500,000	0	1,500,000	森林の将来ビジョンを描くことができるよう、丹波の森公苑等において人工林や天然林ごとの活用区分に応じた里山林整備後の調査研究等を行い、地域の里山活動団体が実施する生物多様性の保全やSDGsの取組みを支援する。			
ひょうご森づくりサポートセンター事業 木育活動実施支援事業	兵庫県木材業協同組合連合会	1,100,000	1,100,000	0	子育て世代を対象に県民の県産材利用への関心を高めるため、木の玩具・遊具にふれる体験を県下各地の幼稚園・保育園で開催する。			

279,485,940 281,948,770 17,537,170